

帯農学校通信

令和7年9月25日
第6号

北海道帯広農業高等学校 Tel 0155-48-3051 Fax 0155-48-3052 URL: <http://www.obino.hokkaido-c.ed.jp>

校長室から



秋も深まり、涼しくて過ごしやすい日々が続いています。前期の期末考査が終了し、9月末をもって前期が終了することになり、学校生活も一つの区切りが付くことになります。また、今後においては、スポーツフェスティバルや農業クラブ全国大会西関東大会、2年生の見学旅行など、大きな行事が予定されておりますので、保護者の皆様や地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校は一昨年度から、農業科学科・酪農科学科において、十勝総合振興局やYUIME株式会社との共同事業「新規就農プログラムモデル研究開発」を継続しています。今年度は初の試みとして、『めざせ！北の“新”農業人』雇用就農に向けたマッチング交流会」を7月に開催しました。道内外の有力生産者16社が来校し、雇用就農や研修の機会を提示してくださいました。生徒は生産者の考え方に直接触れ、就農への道筋を現実的に描く契機となりました。こうした取組は、本校ホームページやSNSで情報の発信をしております。是非ご覧いただきたいと思います。

どうか、皆様におかれましては、これらの本校の教育活動に御注目いただくとともに、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

北海道帯広農業高等学校長 佐藤 裕二

9月のピックアップ



9月1日（月）、本校生徒と教職員が北海道シェイクアウト2025に参加しました。各ホームルームで北海道シェイクアウトや防災について説明を聞いた後、大地震から身を守ることを目的に、安全行動の基本である「①Drop（姿勢を低く！）、②Cover（体・頭を守って！）、③Hold On（揺れが収まるまでじっとして！）」を訓練しました。全校生徒が一斉に行動することで、地震から身を守る効果的な行動を実感でき、防災対策に対する意識を高めることができました。



9月6日、14日、15日の3日間、森林科学科の希望者は「フォークリフトの運転の業務に係る特別教育講習」を受講しました。

講習では、座学でフォークリフトの構造や関連法規を、実技では操作技術について熱心に学びました。今回の経験は、進路活動に役立つだけでなく、生徒たちの将来への大きな自信にもつながる、貴重な学びとなりました。



10月の主な行事予定



1日（水）後期始業式、正装開始
D科稲田保育所ふれあい体験、
ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ予備日
2日（木）北海道高等学校産業教育意見・体験発表会
ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ予備日
3日（金）芸術鑑賞会（5～6h）、あぐりす⑧
4日（土）すこやか収穫体験会
5日（日）3年看護模試④
6日（月）体験入学②
7日（火）寮漢字コンクール、1C・2C国分北海道講話
8日（水）学校説明会（市内）、2M大学体験（5～6h）
D科第二ひまわり幼稚園酪農教育ファーム
9日（木）学校説明会（西部）、身だしなみ教育④
2M情報化施工実習（終日）
10日（金）公務員有料模試①、2M情報化施工実習（終日）
11日（土）3年記述模試③、農業高校収穫祭
A科・D科畜大との高大連携（3～4h）
C科あんばん祭

14日（火）学校説明会（南部）、1A KDDI DX授業（3～4h）
D科新規就農プログラム講演会（3～4h）
15日（水）学校説明会（北部）、A科収穫感謝祭
D科家畜に感謝する会、F科スマート林業（5～6h）
16日（木）生徒会農業クラブ役員選挙（5～6h）
2D山地酪農講演会（3～4h）
17日（金）あぐりす⑨、2A農業講演会（1～2h）
ドローン資格講習（～19日）
21日（火）進学相談会②
22日（水）農業クラブ全国大会①、日連秋季代議員会
23日（木）農業クラブ全国大会②、1M現場見学会（5～6h）
3A DX研修、D科全日本ｽﾀｲﾝ共進会（～26日）
24日（金）F科JICA研修員来校
25日（土）C科菊まつり販売会
26日（日）見学旅行（～30日）、3M2級土木施工管理技術検定
30日（木）1A DX研修
31日（金）2年生振替休業日